

未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol.6

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい」まいばらの水”12”に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしていきます。水道の蛇口をひねれば当たり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ引き継いでいくきっかけとなることを願っています。

白谷・小碓谷の湧水 (春照・間田)

昔、この一帯は森で、水量も今よりもかなり多く至る所から湧き出ており、どこが川か見分けがつかないほど一面に水が溜まっていたと言われています。特に間田では小碓谷の湧水を、田用水、洗い物の水として利用し、かつて小川浴いにはたくさんの洗い場があり、ウナギがいたり、セリが生えたりもしていました。水温が一定であるため、洗い物などには重宝されました。

伊吹山の神に敗れた日本武尊が、この清水を飲んで目覚めたという伝説が残されている場所の一つでもあります。

(硬度 白谷：142.5 mg/l、小碓谷140.0 mg/l 硬水)



▲ 光を受けて輝く美しい水 (白谷)



▲ うっそうとした森の中から湧き出す清水 (小碓谷)



まいばらの水
イメージキャラクター スイナちゃん

お問い合わせ 経済環境部 環境保全課 (伊吹庁舎) ☎58-2230 FAX 58-1630